

球磨村 おがわ瓦版

令和3年12月10日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

村民の親睦と融和で和やかに

球磨村分館対抗GG大会

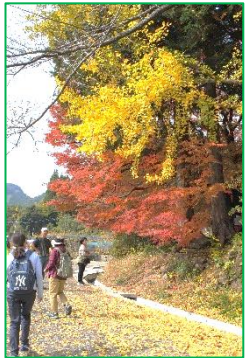
球磨中学校運動場で球磨村分館対抗グラウンドゴルフ大会が11月28日(日)、午前中に球磨村第五分館、午後からは第二分館が開催した。本大会は各分館ごとに競技が行われ、上位5人の合計打数で競う分館対抗の大会となる。全分館の競技が終わり次第、最終的に村教育委員会が集約して総合成績を各分館に発表する。



秋の紅葉を満喫!

さんがうら里山ウオーク

11月21日(日)田舎の体験交流館さんがうらが球磨村第5分館と共催で地域住民ら25人が参加し、第2回目の里山ウオークを開催した。



コースは体験交流館さんがうらスタート・ゴールとする約7kmのルート。那良、毎床、松谷地区の棚田や梨園などを散策し紅葉を楽しんだ。



小川さん 大瀬さんに 民生委員永年勤続表彰



小川公子さん



大瀬幸信さん

このほど、地域住民の支援に長年勤められている小川公子さん(渡小川)と大瀬幸信さん(神瀬大瀬)が、全国民生委員児童委員連合会より永年勤続表彰を受けられた。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」も兼ねている。

小川さんと大瀬さんは、共に平成二十二年十二月から委嘱を受け、長い間住民に寄り添い身近な相談相手として勤めてこられた。また球磨村ボランティア連絡協議会や球磨村生活支援サポートグループ「世話やき隊」にも所属。

小川さんは、昨年被災した人たちを支援する球磨村地域支え合いセンターの一員としても、積極的な活動をされている。大瀬さんは、建築業の傍ら同ボランティア連絡協議会会長や大瀬地区の棚田保存会会長を務め、地域に貢献されている。

小川さんは「永きにわたり活動に携わってきましたが、果たして皆様への活動が充分であったのだろうかと思っています」と。また大瀬さんは「活動の中で、子供から大人までつながりができ、

周りの人たちの喜ぶ顔が見れたことが嬉しかったです」と長年の活動を振り返った。

球磨村ボランティア連絡協議会便り

11月19日、球磨村ボランティア連絡協議会(大瀬幸信会長)は那良口から林までの県道沿線の清掃作業を実施した。



県道沿線を清掃する会員

同協議会は、年一回の清掃活動を計画しており、当日は会員13名がJR一勝地駅前より二班に分かれ県道沿線のゴミ拾いを行った。ゴミは19袋にも。会員たちは、ペットボトルや金物、昨年の豪雨でガードレールや木々に掛かったビニールシートなど、分別したゴミは軽トラック二台分収集した。

2021年間流行語大賞

『リアルニ刀流』

ショウタイム